

2014年（平成26年）7月31日（木曜日）

大 館 市

釈迦内SFプロジェクト実行委

たんぽぽ用マイ井作る

小学生ら 12人体験 芳賀さん(池内)の指導で



「本場大館きりたんぽう」と題した陶芸教室が30日、大館市中央公民館で開かれた。市内の小学生ら12人が陶芸家の指導を受けながら、井の成形を行い、土に触れる楽しさを味わった。

焼き」の作品を販売しており、陶芸を楽しむ機会にと初めて教室を企画。本場大館きりたんぽまつり（10月11～13日）の盛り上げにも一役買おうと、きりたんぽ用井を作ることにした。

主催は、釈迦内サンフラワープロジェクト実行委員会。同委員会は、ヒマワリ油の絞りかすを上薬に使った「ひまわりきりたんぽ用の井を作る参加者たち（大館市中央公民館で）

「ひまわり焼き」を手掛けた同市池内の芳賀陶貞さん(67)が手回しろくろを使った成形の仕方を指導した。信楽産の土をろくろに乗せて井の形を整えていき、柄こてや弓など専用の道具で見た目を美しく仕上げ、成形は完了。参加者は、5種類の上薬から好きな色を選び、焼き上がりを楽しみにしていた。

は「自分だけの作品を作りたい」に参加した。中を広げるところが難しかったけど、この井できりたんぽを食べるのが楽しみ」と笑顔を見せた。今後、芳賀さんがそれぞれサインを入れて、工房の窯で素焼き、本焼きを行い、約1カ月後に完成品を手渡す予定。

初めて陶芸に挑戦した桂城小5年の岩谷瞭くん